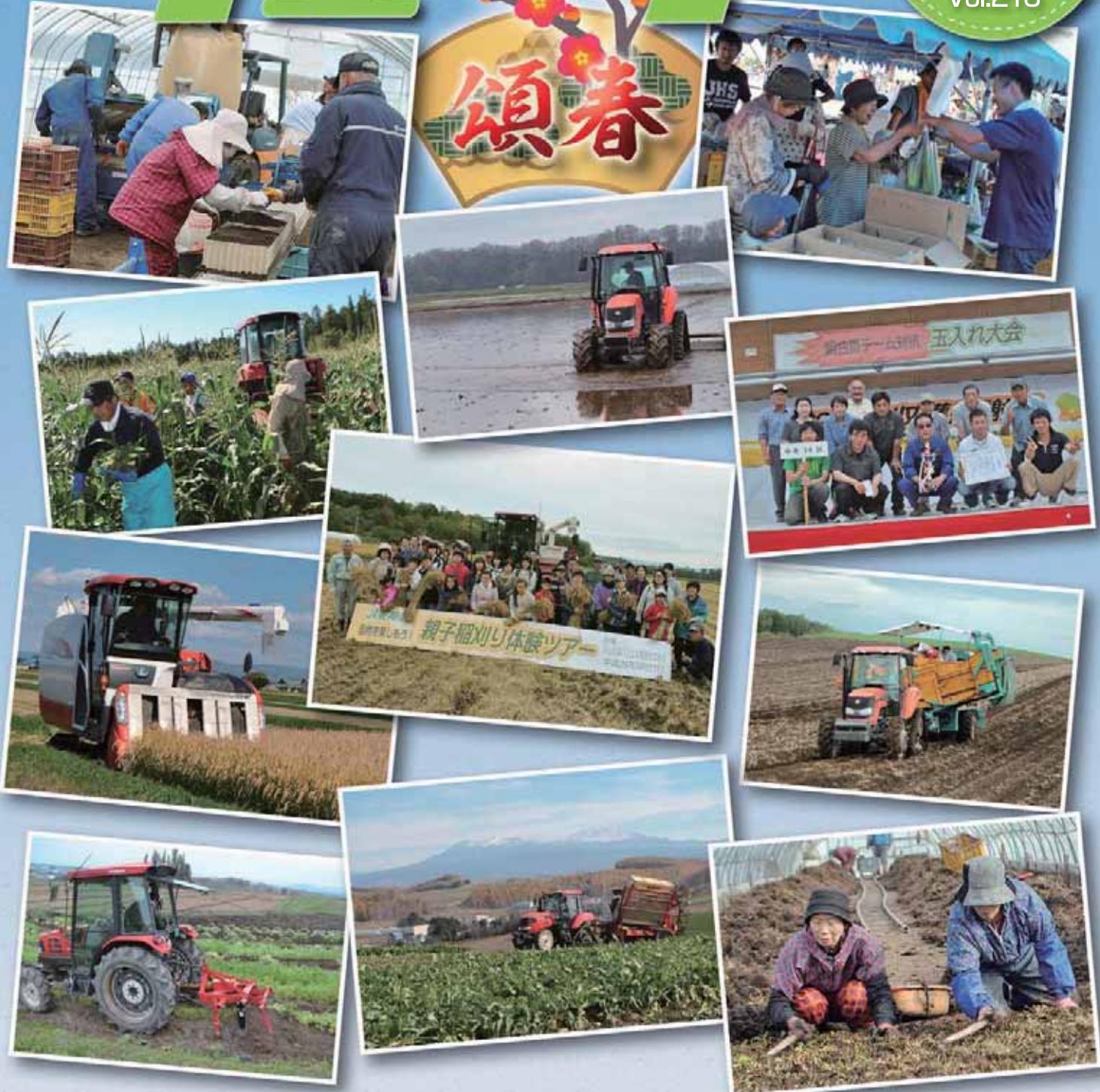


カエア"

1

2015 JANUARY
Vol.216



ひがしきぐら

<http://www.ja-higashikagura.com>

今月の
表紙

新年明けましておめでとうございます。今年は未(羊)年です。未は群れをなすところから「家族の安泰」を表すとされ、いつまでも「平和」に暮らすことを意味しています。本年も一年平和でありますように。

P2~P5 新年のご挨拶

P6 蔬菜研究会道外視察研修 他

P7 女性部行事

P8~P9 平成26年度の水稻を振り返って

P10 いつのまにかハカセ・我が家のペット

P11 事業協力委員会開催 他

P12 農機自動車課より

P13 営農計画書の提出

P14 今月のスナップ

平成26年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔 章



による各種会合並びに交渉が継続的に行われています。

昨年の11月10日に行われた関係国

の首脳会合では、結果として大筋合意には至らず合意の目標時期も明示されませんでしたが、協定の早期妥

結に向けた取組みをさらに進めていくことなどを確認し合った経過にあ

り、今後とも予断を許さない情勢にあります。國のかたちを大きく変容させかねない重大な交渉であるにもかかわらず、依然として具体的な情報開示がなされておらず、國民不在のもとでの交渉に大きな不安と憤りを感じざるを得ません。

国会決議の順守とともに我が國の将来に禍根を残すことのないよう、今後とも政府・与党への強力な働きかけを行いつつ、國民世論の形成に向けた取組みを展開して参ります。

一方、政府は規制改革会議における答申を踏まえ、平成26年6月に「規制改革実施計画」を閣議決定し、農

協系組織に自己改革を求める内容を示しました。その後、JAグループ北海道として全道の組合員に参加いただいたうえで組織討議を実施し、頂いたご意見・ご要望をもとに、「多

く組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい新年を迎えたものと心よりお慶び申し上げます。さて、昨年の北海道農業は、地域差・個人差があるものの、おおむね順調な作柄となりました。皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対し、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

平成26年は午年（うまどし）でありましたが、農業・JAをとりまく個々の情勢変化に加え、年末には、衆議院議員選挙が実施されるなど、まさに激動の一年でした。かかる情勢の中、我が国の農業をはじめ国民生活のさまざまな面に大きな影響を及ぼしかねないTPP交渉に関しては、関係国の首脳・閣僚・交渉官等

「時代に即した協同組合への改革」を柱とした「JAグループ北海道改革プラン（実行計画指針）」をとりまとめました。

今後、その内容を踏まえ、必要な

環境整備に向け政府・与党に働きかけを行うとともに、組合員の皆様方と力を合わせJAグループとしての機能・役割をより一層發揮し、国民各層の理解醸成をはかりながら、改革プランにもとづく事業展開を積極的に推進してまいりたいと存じます。

世界規模での異常気象の発生、人口増加、新興国の経済情勢の変化などを背景に、国際的な食料の需給事情は不安定な要因を抱えており、先を見据えた中で、食料の安全保障をいかに確立していくかが問われています。自国の食料は可能な限り自己で賄うべきは、国家が存立している。群れをなす羊は家族の安泰を示し、いつまでも平和で暮らすことを意味します。改めて家族や農村社会の結びつきを大切にし、地域農業・地域社会の共存共栄を目指し、ともに頑張ろうではありませんか。

今年の干支は未年（ひつじどし）です。群れをなす羊は家族の安泰を示し、いつまでも平和で暮らすことを意味します。改めて家族や農村社会の結びつきを大切にし、地域農業・地域社会の共存共栄を目指し、ともに頑張ろうではありませんか。結びになりますが、本年が天候に恵まれ実り多い年となりますよう、併せて、北海道農業並びにJAグループ北海道の一層の発展を心よりご祈念申し上げ、新年にあたつてのご挨拶といたします。

政策展開なり関係者の自助努力を精力的に進めていくことが重要であります。

新しい年を迎えて

上川農業改良普及センター

所長 友成公士



気象変動が激しい中、農業者皆様の土づくりをはじめとする不斷的努力にあらためて敬意を表する次第であります。

農業政策では、「経営所得安定対策」「新たな米政策」の見直し、「農地中間管理機構」の設置が進められる中、生産現場においては、高品質・安定生産はもとより、農・畜産物の生産現場においては、高品質・「高附加值化」や水稻を基幹とした「高収益複合経営」の展開、生産効率を更に高めるための「農業形態」のあり方と「生産コストの削減」が必要となっています。また、国際的にもTPP交渉の先行きが危惧されるなど、農業はもとより地域経済全ての将来が心配される状況にあります。

新年明けましておめでとうござい
ます。輝かしい新春をご家族とともに
お迎えのことと心からお慶び申し
上げます。

平素から普及事業に対しまして、
関係機関の皆様、農業者の皆様から
温かいご支援とご協力を賜り、心から
感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、春先の融
雪遅れに伴い各作物の生育遅れが心
配されましたが、その後の好天によ
り農作業も順調に進み、各作物とも
平年を上回る生育・収量が確保され
ました。水稻につきましては、上川
管内の作況指数「108」と4年続
けての豊穣の秋を迎えることができ
ましたが、青未熟米などが多く製品
歩留まり悪い中、製品収量としてほ
ぼ平年並を確保されました。

J.A東神楽地域(東神楽・西神楽)
の農業は、水稻を基幹に施設野菜な
どの園芸品目が導入されている地域
と畑作もつを中心露地野菜などが
導入されている地域で収益性の高い
農業経営を開拓しており、J.Aを中心
にした「組織力」「産地力」は如何
なる農業情勢にも対応できる地域
と確信しております。

水稻においても、関係機関と一体
となり、新たに良食味米生産に向け

た栽培改善を本格的に開始したこ
とは、まさに北海道の米主産地とし
て「選ばれる米づくり」に向けた意
義ある取組であり、農業者皆様の更
なる創意・工夫と主体性の發揮を期
待しております。

普及センターでは、普及活動基本
計画の最終年となります。変革す
る時代の潮流をしつかり見据え、ス
ピード感を持つた活動を展開した
いと考えています。

将来に向け、「力強い農業経営」
「やりがいのある農業」を未来に引
き継いでいくために、職員一同全力
を尽くすよう、決意を新たにしてい
るところであります。

新しい年が、皆様にとりまして良
い年でありますことを心からご祈
念申し上げ、新年のご挨拶とさせて
頂きます。

謹賀新年

所長 友成公士

本所次長 関根敏夫

本所地域第三係長 桑原英郎

本所主査(畑作) 池田勲

本所専門普及指導員 小笠原史子

本所専門普及指導員 森明洋

本所専門普及指導員 近藤均

大雪支所 地域第二係長 佐藤千代志

大雪支所 支所長 伊與田まや

大雪支所 指導主任 大雪支所 地域第一係長 田中米子

大雪支所 指導主任 大雪支所 専門普及指導員 吉田純子

大雪支所 専門普及指導員 工藤淑郎

大雪支所 専門普及指導員 武田和也

新年を迎えて

J A 東神楽青年部

部長 堤 泰樹



謹賀新年
参監監理理副理副理
与事事事事事
高吉高佐大安吉小堤
野田橋野角藤本山
昌聖真祐有英幹泰
勝史司也介一典仁樹

新春あけましておめでとうございます。
平成27年の年頭にあたり、謹んでご挨拶申上ります。組合員の皆様には日頃より青
年部活動に対しまして、ご理解とご支援を
賜り心より厚くお礼申し上げます。
昨年は春以降の天候に恵まれ、各作物と
も順調に生育し、平年を上回る収量となり
ました。水稻につきましては、作況指数「1
0.8」と豊穣の秋ではありますたが、米価
の下落と青未熟米が多く乾燥調製に悩ま
された1年でありました。畑作では、晚春の
高温による病害虫の被害が心配されまし
たが、順調に生育し、ビートにつきましては
糖度・収量ともに高く、喜ばしい結果を迎
えました。蔬菜につきましては、天候によ
る価格の変動はあつたものの、全体で見れ
ば平均的な結果だったのではないでしょ
うか。

昨年の青年部活動を振り返りますと、
総会から始まり、子供農業体験・帯広市で
行われた国際農業機械展観察研修・農協
職員とのスポーツ交流会・花まつり出店、
農協収穫感謝祭への参加・1分間CMの作
成などの活動の他に、今年度より「教員対
象にした農村ホームステイ」を実施しまし

た。農村ホームステイでは、盟友2名が先生を各2名ずつ受け入れて、丸1日農家体験をしていただきました。先生方は農業の大切さ・農家の想いを、そして、私たちは農業への誇り・環境の素晴らしさを考える良い機会になりました。1・2月には常勤役職員との意見交換会・婚活事業を予定しております。

「TPP問題」「農協改革に関する意見」と、農業情勢については大きな転換期を迎えているところです。いずれも予断を許さないものであり、青年部一丸となり地域農業を若い力で盛り上げ、更なる農業の活性化を図って参りたいと思います。

最後に、本年が豊穣の年になるとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

女性部の活動では、今年も西神楽支部との合同で管外研修を持つ事ができ、震災から3年半が過ぎた地へ、「東北応援し隊」で買い物をして復興支援を!と銘打つ岩手・宮城へ行つてきました。南三陸での語り部ガイドを申し上げます。

部員の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

どうぞぎります。部員の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

新年のごあいさつ

東神楽女性部本部部長

大塚勝子



あけましておめでとうございます。部員の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

ドによる震災の説明は想像以上に悲惨で、目の前にはなくとも無くなつた港と町。これから3年かけて町全体を10cmかさ上げするのだそうです。時間が過ぎても忘れず語り継ぎ、頑張れ!と思いついた3日間でした。女性部大学では「ギムチ作りをもう一度」との希望で実施し、大変好評でした。今年も部員の声を参考に楽しい行事を企画したいと思いますので、よろしくお願い致します。

年頭にあたり

西神楽文部支部長

前田艶子



謹んで新春のお慶

び申し上げます。部員の皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えの事と想います。また、日頃よりご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

農業情勢はまだまだ不安定です。TPP交渉、農協改革など色々な事が私達の将来を考えかします。しかし私達は、力を合わせて命を育む源の、安心・安全な農作物をこれからも作つてまいります。

女性部は、新年会や研修会など様々な活動を行つております。また、日頃より

年頭にあたり

大塚勝子

西後藤朋子

岸本澄子

西山

西

理

理

理

年頭にあたり

前田艶子

高山美江

滝沢さおり

山田玲子

松本美香子

小畠幸子

吉田芳枝

道外視察研修
みつば部会定期総会

役員道内研修

東神楽蔬菜研究会では、12月1日～3日にかけて道外視察研修を開催しました。

視察先のJA全農 営農・技術センター（神奈川）では、生産者と消費者を安心で結ぶ架け橋の技術拠点としての「省力・低コストの農業生産」「安全・安心な農産物」の提供に応える技術的業務について視察しました。



JJA全農 営農・技術センターにて

場における取引や機能の変化に対応する取組について研修しました。その後、農産物のパッケージ業務・オリジナル梱包材企画提案を手掛ける(株)サンコーペランニング(茨城)及び環境制御による農産物の長期保存を可能としたホクレン関東野菜センターの貯蔵技術について視察しました。

冬の味はかないで、12月下旬より道東を内・関東に出でる予定です。荷され



生育状況の確認

J A 東神楽蔬菜研究会みつば部会の第42回定期総会が12月11日に執り行われました。

例年通り、定期総会の前には圃場調査が行われ、各部会員の圃場の生育状況を確認しました。今年は昨年ほどの高温、干ばつにまでは及ばないものの、その影響は確かにありました。また秋口の長雨も加わり、予定の伏込面積に及びませんでした。しかしながら伏込後の生育状況は堅調に推移しており、まずまずの収量が見込めそうです。

定期総会では岸本昌延部会長はじめ、来賓の井澤組合長、ホクレン旭川支所石本様、上川農業改良普及センター伊與田係長よりご挨拶をいただきました。また提出されたすべての議案が承認され、その後の懇親会も和やかな雰囲気の中、盛会のうちに終わりました。

今後もより一層安心、安全なお米を努力して供給していくとともに、系統団体には北海道米の需要拡大と販売価格向上に最大



北海道農業研究センターにて

程で、帯広市の「日本家畜貿易株式会社」、札幌の「北海道農業研究センター」、芽室町の「北海道農業研究センター」、江別市の「小林牧場」、「株ミツハシライス札幌精米工場」を視察して参りました。

「日本家畜貿易株式会社」は、家畜人工授精事業のほか酪農機材の輸入販売や環境に優しい再生可能エネルギー事業を開発している会社です。その事業の一環として肉牛や乳牛から出る家畜の死んで尿をたい肥化し、燃焼して発電する施設を開発し、その内容を視察してきました。一連の工程の説明をしていただき、発電をしつつ燃焼で出た灰は肥料として活用できるという画期的な畜力発電でした。

「北海道農業研究センター」では、米を巡る情勢という内容で26年産米の情勢、販売動向、今後の北海道米の販売対応等について説明をうけた後に意見交換会を行いました。

「ホクレン本所」では、米を巡る情勢

ミツハシライス札幌精米工場視察

限の努力をしていただき生産者の経営安定と所得の確保をお願いして参りました。

「有限会社 小林牧場」では飼養頭数約400頭、牛乳出荷量約2000トン、経営地135ha規模の牧場です。家畜ふん尿を発酵させてバイオガスを発生させ発電するバイオマス発電の仕様とその施設を見学させていただき、ふん尿処理後の説明をしていただきました。「株ミツハシライス札幌精米工場」(江別)は、本社は横浜にあり、精米事業と炊飯事業を展開しています。当JAとは、7年ほど前から米の取引をして頂いている企業です。全国には3つの精米工場と炊飯工場をかまえています。工場のラインを見学しながらそれぞれの機械の説明やロット番号による商品管理、包装資材の説明をしていただきました。商品に対しての衛生管理と品質管理の徹底さが伺わされました。

最後に、今回の視察研修を、今後の農協事業運営に活かし、事業推進を進めて参りたいと思います。

第三回女性部 大学開催



すでに美味しい香りです

12月2日、東神楽町農村環境改善センターにて第三回女性部大学を開催しました。辻英心先生を講師に迎え、キムチ作りを行いました。材料の大根・にら・人参・長ネギなど様々な野菜にだしを入れ、本場の唐辛子を加えて混ぜ込むとなんとも食欲をそそるいい香りがしてきました。それを荒漬けした白菜に挟み込んで完成。約3日間熟成させれば美味しく食べることが出来ます。先生や部員同士で質問が飛び交い、「帰つたら早速作ろう」と、みなさん熱心に取り組んでいました。



高砂台ボウリングクラブにて

いきたいと思
います。
な活動で様々
に取り組んで
います。

した。

12月にも2回目の部員研修を予定しています。内容は料理講習と美

容セミナーです。これからも女性な

らではの視点と発想で様々な活動と発想を取り組んでいます。

部員研修開催

11月28日、部員12名参加のもと

第1回部員研修が開催されました。

毎年4月に開かれる町内役員会にて年間行事計画を立てる際、「みんなでボーリングをしてみませんか」という一言から今回の部員研修が実現しました。午前中は高砂台ボーリングクラブで汗を流し、お昼からは旭川パークホテルにて懇親会を行いました。ボーリングでは個人戦でスコアを競い合い、順位3位までとアービー賞には豪華景品を用意し大盛り上がりました。ホテルでは美味しいお料理、ゆったりした時間と空間に癒され、仲間同士おしゃべりに花を咲かせ、あつという間ですが充実した時間を過ごすことができました。

12月3日、第3回目の加工講習を

西神楽農業構造改善センターで部員8名参加のもと実施しました。調理品目は、寿司あげ・黒糖カボチャ蒸しパン・焼肉のタレの4品目で

す。今回の品目は毎年作る定番のレシピで、間違いないおいしさで家族に大好評なものばかりです。食材

を持ち寄り大量に作る事でコストは安く済み、お互いの知識を共有して手際よく、そして楽しく実習を進め

ていきました。次回はどうふ、おこし、角煮を作る計画で今からとても楽しみです。

「一期加工くらぶ」 加工実習



ひとつひとつ丁寧に作ります

12月にも2回目の部員研修を予定しています。内容は料理講習と美容セミナーです。これからも女性ながらではの視点と発想で様々な活動と発想を取り組んでいます。

JA東神楽農業文庫

図書に関するお問い合わせは営農指導課 Tel:83-2243



今月の配本図書

1時間でよくわかる 楽しいJA講座

北川 太一 著

JJAとは?協同組合とは?どんな活動をしているのか?など、JAや協同組合の仕組みや事業、課題や将来性について16のテーマごとに親しみやすいマンガ付きでわかりやすく解説。各種研修のテキストに最適です。



相続対策の9割は遺言書で決まる

本田 桂子 著

老後にかかるお金はいくら?自分の死後、相続税はどうなるのか?など、老後も死後も自分と家族が困らないために“これだけは知っておきたい”相続に関するポイントを、遺言書作成のプロがわかりやすく解説します。



野菜がたっぷり食べられる あたたかいサラダ

堤 人美 著

ゆでる、蒸す、炒める、揚げる……加熱することで野菜の香りやうまみが際立つ、新感覚サラダレシピ。肉や魚など、さまざまな食材と組み合わせれば、おかずやおつまみにも変身!野菜の食べ方がもっと広がります。



東神楽町メモリアルホールでご利用いただけます

水稻を振り返つて

(4) 登熟期間

8月の日照不足、後半の低温により登熟はやや緩慢となり、成熟期は平年より6日早い9月5日となりました。

(5) 収量・品質

平年に比べ、 m^2 当穗数はやや多く、1穂粒数は並、 m^2 当総粒数は並、稔実歩合は並、千粒重は並、玄米重はやや多い。品質は概ね1等となりましたが、全体的に腹白粒と青米の混入がめだちました。

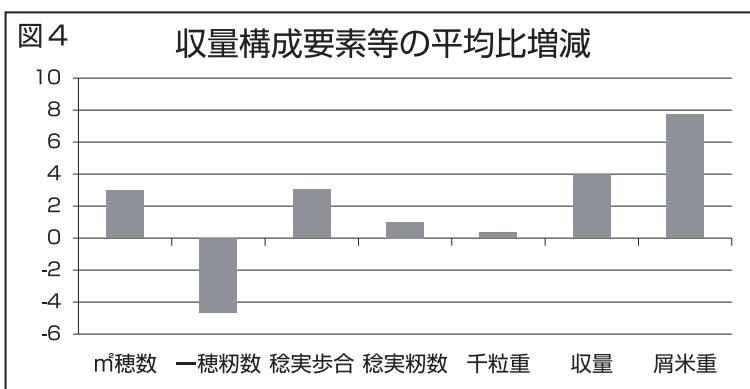


表4 成苗ななつぼしの収量構成要素、収量等平年比較

品種年次	項目	成熟期の			1穂 粒数 粒	m^2 当たり 総粒数 粒	稔実 歩合 %	m^2 当たり 稔実粒数 粒	千粒重 g	精玄 米重 kg/10a	肩米重 kg/10a
		稈長 cm	穂長 cm	m^2 当穂数 本/ m^2							
ななつぼし	26年	68.0	16.0	620	53.7	33,323	95.7	31,752	23.0	668	28.0
ななつぼし	平年	67.9	16.6	601	56.3	33,887	92.8	31,452	22.9	642	26.0

3 病害虫の発生状況

(1) いもち病

上川農業試験場の予察田においては、葉いもち病の初発は、7月7日となりました。平年(7月12日)より5日早い発生となりました。穂いもち病の初発は、8月8日となりました。

大雪地区(美瑛町)においては、葉いもち病は8月6日に確認されました。防除により「初発で止まった」状態でした。初発は7月末と推定されます。

一部のほ場では、穂いもち病の発生がみられました(初発は8月8日)。下葉の葉いもち病から始まり、7月末からの連続降雨によって穂いもち病に移行したと思われます。

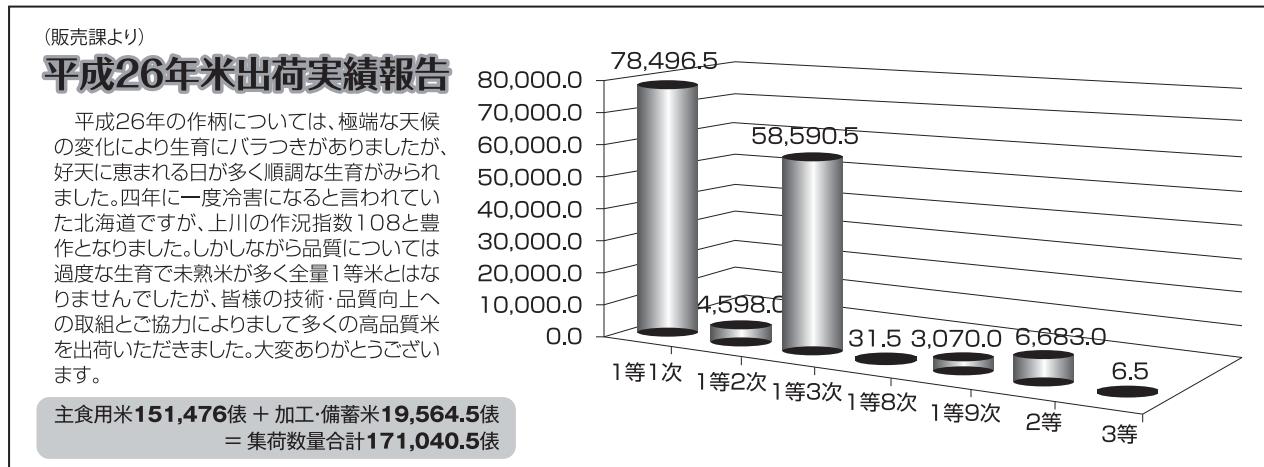
育苗箱施用剤や水面施用剤の使用により、全体としてみると発生ほ場はごく限られました。

(2) イネドロオイムシ

高温の影響で、成虫の初発は5月末と早く、6月中旬には盛んに飛び込みがみられました。無防除ほ場においては6月5半旬頃から、アドマイヤー等の育苗箱施用剤を使用しているほ場においては、7月1半旬から被害が目立ち、追加防除が実施されるなど、一部地域では被害の多い年となりました。

(3) アカヒゲホソミドリカスミカメ

大雪地区においても、「1週間程度早い」発生でしたが、出穂期の基幹防除が実施され、発生量は少ない傾向でした。8月3半旬までの巡回調査においても、田及び畦畔ともすくい取り頭数は少ない状況でした。



平成26年度の

1 平成26年の気象経過

5月から9月までの積算平均気温は2,712℃(平年2,518℃、昨年2,588℃)、積算日照時間は927時間(平年818時間、昨年776時間)、積算降水量は646mm(平年508mm、昨年575mm)でした。

2 気象および生育の概要

表1 農作業のH26年と平年比較(大雪地区)

	融雪期	耕起始	耕起最盛期	は種始	は種期	は種終	移植始	移植期	移植終	収穫始	収穫期	収穫終
H26年	4/18	4/25	4/30	4/11	4/16	4/20	5/18	5/24	5/26	9/8	9/21	10/1
平年	4/10	4/30	5/4	4/11	4/16	4/20	5/18	5/21	5/26	9/13	9/20	9/28

表2 生育期節のH26年と平年比較(大雪地区作況ほ、成苗:ななつぼし)

	出芽期	活着期	分げつ始期	幼穂形成期	止葉期	出穂始期	出穂期	出穂揃	黄熟期	成熟期
H26年	4/22	5/25	6/1	6/20	7/6	7/13	7/17	7/21	8/21	9/5
平年	4/22	5/28	6/5	6/26	7/13	7/20	7/24	7/28	8/27	9/11

(1) 育苗期

融雪期は平年より8日遅い4月18日でしたが、は種期は平年並みとなりました。出芽期は平年並みでしたが、出芽の揃いは良い傾向でした。苗の生育は、好天により、草丈は長く、葉数は進み、やや老化苗傾向がみられました。

(2) 移植・初期成育

5月19日以降は天候が回復、移植期は平年並みに進み、活着は良好となりました。

6月上旬の高温多照により生育はすすみ、6月15日の生育調査では平年より5日早となりました。

(3) 幼穂形成期～出穂期

幼穂形成期は平年より6日早い6月20日で、止葉期及び出穂期は平年より7日早い7月17日となりました。

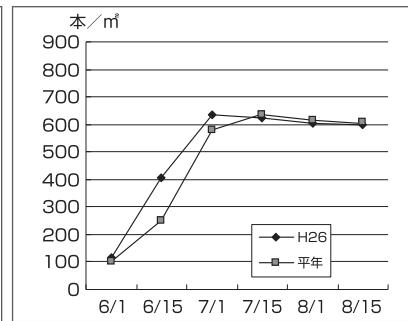
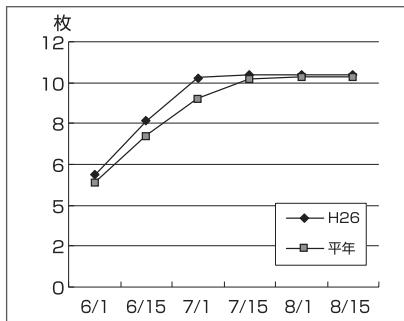
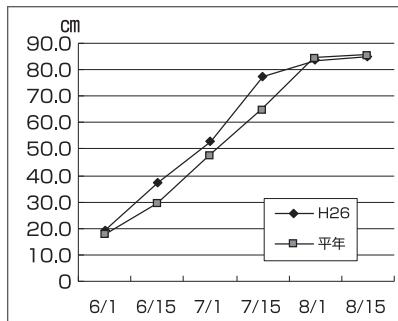
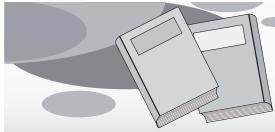


図1 葉数の推移

図2 草丈の推移

図3 茎数の推移



11つのまにかんけせ



風邪には何と言っても予防が大切。特に効果的な風邪の予防方法をご紹介します。

風邪という言葉の由来豆知識

中国医学では「風」が病気の元「邪」を引き起こすと考えていました。

これが、日本で一般化して「発熱」「悪寒」「鼻水」「咳」「のどの痛み」「頭痛」「全身の倦怠感」などの症状を引き起こす病気をまとめて「風邪(かぜ)」と呼ぶようになりました。

風邪の予防の豆知識

手洗が大事

風邪は接触感染です。ですから風邪に感染ルートのほとんどが、風邪の細菌やウイルスが付いたものを手で触れ、その手で鼻や口を触ることで感染しています。

頻繁に手を洗う事が、風邪の予防には一番です。



お茶でうがい

風邪の予防には、うがいも有効です。



うがいをするなら、お茶や紅茶ですると更に効果的。

お茶に含まれるカテキンには、強い殺菌効果があります。

ちなみに、風邪の予防としてうがいをするのは日本人だけで、海外では、あまりしないようです。

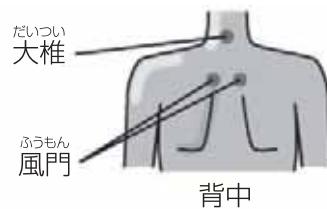
風邪の治し方の豆知識

風邪にかかったら ビタミンC

もし、風邪にかかつたら、イチゴやみかん、キウイなどでビタミンCをとってください。ウイルスの活動を抑えてくれます。

風邪に効くツボ

風邪にかかつたら、背中の「大椎(だいつい)」と「風門(ふうもん)」というツボをヘアードライヤーで使い捨てカイロなどで温めると、症状が和らぎます。



背中

我が家へのペット

就実地区 前田靖雄さん宅

ぽぽろん&こころん(♀8才・♀2才)



同じポーズでお昼寝中…Zzz



仲良しこよし♪



ママの帰りを待ってます

事業協力委員会開催



協議の様子

12月15日、本店大会議室において事業協力委員会が開催され、平成26年度事業の経過が報告され、平成27年度事業計画樹立方針(案)では、各事業の重点方策などについて説明が行われ協議を頂きました。

国営緊急農地再編整備事業では、地区調査の最終年に入ります。1年先行して地区調査に入つて、いた地区において平成27年からの着工予定が平成28年度以降にずれ込んでおり影響が懸念されますが、より良い計画書に仕上げ早期着工に向けた準備を進めて参ります。

また、平成27年度から始まる第7次農業振興5年計画(案)、JA中期経営計画(案)の説明もあり協議を頂きました。

寒締めほうれん草栽培



袋詰め作業



収穫の様子

今年度より試験的に「寒締めほうれん草」の栽培を始めました。この栽培方法は、ほうれん草の寒さに強いという特性を生かし、寒さに遭遇するごとに(4℃以下に10日以上)により、甘みの増した食味にこだわり差別化の図れる「寒締めほうれん草」を作る栽培技術です。

今回は東神楽中央4区安藤和敏さん、高橋進さんの2件に試験栽培に協力して頂きました。寒さに向かっての栽培は初めてでしたので非常に苦労しましたが、葉色も濃く肉厚で甘い「寒締めほうれん草」を出荷することが出来ました。冬場において、栄養満点の「寒締めほうれん草」は市場でも期待されています。

来年はこの技術をもとに更なる収量と食味を確保できるよう努めたいと思います。

明けましておめでとうございます。本年もご愛顧の程宜しくお願いします。
今年も当店限定『「ウェーブ」見たよ!』の愛言葉で、初売り特別価格でご提供致します。
組合員皆様のご来店を心よりお待ち致しております。(TEL68-5222)

初売り

1月2日 AM9:30より

●ジョージア 数量限定

・オリジナル・エメラルドマウンテン・ヨーロピアンブレンド

「ウェーブ
見たよ!」で
1,500円

組合員様特別価格 お1人様1箱限り

みなさまに安心をお届けします。

**国産野菜
統一宣言**

当店の生鮮野菜はすべて国産です。

年末年始の営業時間	
12月27日～30日	AM9:00～PM8:00
12月31日	AM9:00～PM7:00
1月1日	休業
1月2日～3日	AM9:30～PM7:00
1月4日	通常営業



ホクレン

シヨップ

東神楽店

TEL 68-5222

(通常営業時間)

AM9:30～PM8:00

年末年始の各種行事
ご会合(お刺身・オードブル等)ご葬祭典
などその他各種ご注文を承っております。
お気軽にお申し付け下さい。

農機自動車課よりお知らせ



アロック東神楽店
「アロックVIP会員システム」

VIP会員募集中!! アロック おトク満タン VIP会員の皆様へ

更新の際、必要となる物

- 「アロックVIPカード」
- 年会費の2,000円
- 車輌の変更がある場合車検証

ガソリン・軽油

1ヵ月上限
最大70ℓ

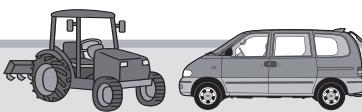
新規・更新の特典

洗車カード1,000円分もしくは
BOXティッシュの**進呈!**
いずれかを

更新が近づくとレシートに表示されますので、更新手続きをよろしく
お願い致します。ご不明な点は、下記連絡先までお問い合わせ下さい。

- JA東神楽整備工場 ☎83-2159
- JA西神楽営農センター ☎75-4214

予告



春の展示会

とき/3月中旬頃



旭川アルーダ オープンフェア

とき/3月下旬頃

ところ/旭川永山ホクレン油機サービス

ミニアルーダ掲示板 アルーダがあるじゃないか!!

目より情報



《売りたい情報》

12月10日現在の情報です。（税込）

品名	銘柄	型式	金額	備考	品名	銘柄	型式	金額	備考
ジェットヒーター	静岡	125D	40,000		コンバイン		CA525	1,000,000	
踏むぞう	篠原	F2601	108,000		田植え機	クボタ	NSU-87-CY321TSF	1,930,000	2007年製 整備済み
ライムソワー	スター	MLS3030	140,400		混合気ミキサー			37,800	100V用
ネギ皮むき機	和興	ノズル10穴	32,400		植木バリカン	新ダイワ	SH410	3,240	
ネギ皮むき機	和興	ノズル6穴	21,600		植木バリカン	マキタ	MUH401	3,240	
コンベアー	マルヤス	DCAL2A-24-40	30,000		ブームスプレナー	共立	BSM513	421,200	NO-038017
コンバイン刈刃	クボタ	AR-43	32,400	新品	踏むぞう			50,000	4枚

多くの情報を寄せ下さい。アルーダのホームページアドレスは

<http://www.aruda.hokuren.or.jp/>



《売りたい遊機農機具はありませんか?》 系統(JA・ホクレン)では組合会員皆様の使わなくなった農機具を募集しています。ご希望の方は窓口までご相談下さい。

◎お問い合わせは◎ JA東神楽整備センター
24時間のレッカーサービス

☎83-3810・83-2159
☎83-5923

堅実な経営は 営農計画書から

営農計画書提出期限 1月30日まで

本年も右記日程の通り、各地区ごとに営農計画書の受付を致しますのでご多忙のこととは存じますが期日までにご提出頂きますようお願い致します。

なお、計画書の作成に当たっては、過去の実績を分析し、別紙参考資料を活用いただき、綿密な営農計画を立てましょう。

日 程	東神楽地区	西神楽地区
1月28日(水)	東聖・八千代・志比内	西神楽・中央・新開地区
1月29日(木)	中央全区・市街地	聖和地区
1月30日(金)	忠栄・稻荷	千代ヶ岡・就実地区
場 所	JA東神楽本店2階C会議室	西神楽営農センター2階大会議室
時 間	午前9:00～午後5:00	
担 当 課	営農指導課 83-2243	西神楽営農センター 75-4215

上記日程で来れない方や、3日間の御都合が悪い方は各担当課に連絡をお願いします。

白色申告の方の記帳・帳簿等の保存制度について

個人の白色申告の方で事業所得、不動産所得又は山林所得を生ずべき業務を行う全ての方（所得税及び復興特別所得税の申告が必要ない方を含みます。）は、平成26年1月から記帳と帳簿書類の保存が必要です。

この記帳と帳簿書類の保存制度の詳細は、国税庁ホームページ（<http://www.nta.go.jp>）をご覧いただけます。旭川中税務署又は旭川東税務署にお問い合わせください。

旭川中税務署代表電話 0166-90-1451 旭川東税務署代表電話 0166-23-6291

平成27年 道内市場休開市日程表

■印の日は休市です ○印の日は臨時開市です

1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

1日／元日 12日／成人の日

2日～3日・7日・21日・28日／臨時休市

2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

11日／建国記念の日

4日・18日・25日／臨時休市

詳しくは東神楽地区 販売課 ☎83-2241・西神楽地区 営農センター ☎75-4215 までお問い合わせ下さい。

お詫び

12月号の表紙の中に「すき込み作業」と記載しておりますが「ふせ込み作業」の間違いました。心よりお詫び申し上げます。



組合員の動き (平成26年11月末現在)

正組合員戸数
684戸

正組合員数
803名

准組合員数
4,093名

編集後記

年末年始といえば色々おいしいものを食べますよね。クリスマスケーキに始まりおせち、おそば、おもち、お雑煮…子どもの頃は好き嫌いが多く大晦日のおせちが嫌いでいたが、年を重ねる事に嫌いなモノが減り、今では全部ペロリとたいらげます。おせちはそれぞれ縁起の良い食べ物で作られていますが、なぜか黒豆だけは小さい頃から「元気に働けるように」という意味だと覚えています。今年はそれぞれの由縁を覚えながら食べようと思います。本年もウェーブをよろしくお願ひします。2015年がみなさまにとって健康で実りの多い一年となりますように。

行事予定表

12月31日(水)	大晦日
1月 1日(木)	元旦
1月 5日(月)	金融・共済業務始め
1月 7日(水)	一般業務始め
1月11日(日)	東神楽町成人式
1月12日(月)	成人の日
1月20日(火)~22日(木)	営農懇談会